

授業概要

日本語の構造上の特色について、おもに現代語を対象として、音声・音韻、文字・表記、語彙・語法、文法、敬語、文章・談話等、さまざまな観点から講義する。日本語の構造上の基礎的な知識や言語の構造を捉える観点・方法に関する基礎的な技能を学ぶ。また、理論言語学の枠組みから日本語を捉え直す。

授業計画

第 1 回	日本語学とは？—国語・国語学・日本語学—
第 2 回	文字・表記—書き分けの原理—
第 3 回	書記史—“書く”という行為の歴史—
第 4 回	音声・音韻—音の組織とリズム単位—
第 5 回	音韻史—音の合流を中心に—
第 6 回	語彙—意味のネットワークと位相—
第 7 回	文法①—日本語の品詞と動詞活用—
第 8 回	文法②—日本語統語論の仕組み—
第 9 回	文法③—日本語文法のトピック—
第 10 回	文法史—形態・統語変化を中心に—
第 11 回	文章・談話—三つの捉え方—
第 12 回	敬語—“遠い言葉”敬語の働き—
第 13 回	方言①—方言の概観とダイナミズム—
第 14 回	方言②—言語行動の地域差—
第 15 回	まとめ—この科目で学んだこと—
第 16 回	レポート提出

到達目標

1. 日本語の構造に関する基礎的な知識を習得し、その特色が十分に理解できる。
2. 言語の構造を捉える観点・方法に関する基礎的な技能を身につけることができる。
3. 日本語に対する思考・判断、日本語による表現が適切にできる。

履修上の注意

遅刻・欠席はしないように。
毎回リアクションペーパーを提出してもらう。
関連科目として「日本語の文法」がある。

予習・復習

その日のテキストの該当箇所を予め読んでおく。
配布されたプリントを読み返す。

評価方法

①期末レポート 50%、②小課題 40%、③平常点、授業参加への積極性 10%

テキスト

- ・教科書名：『日本語学入門』
 - ・著者名：滝浦真人(編)
 - ・出版社名：放送大学教育振興会
 - ・出版年 (ISBN)：2020年 (978-4-595-32187-0)
- その他にも授業資料も配布する。参考文献は教場で適宜紹介する。